

04. コンピューターの処理能力が低下した

<症状>

サーバに「パワーモニターH」の常駐プロセスをインストールし、UPSとサーバ間をRS-232Cケーブルで接続すると、サーバのCPU割込回数が異常に高くなり、サーバの処理能力が落ちていきます。

1. UPS～サーバ間の通信は、どんなことをしていますか？
2. サーバのCPU割込回数を減らせる方法を教えてください。

<対応内容>

RS232Cの通信は、サーバの処理能力を落とすほどの頻繁な通信は行っておりません。UPSとコンピューターを接続するケーブルを市販のものを使用すると同様の現象が発生します。必ず、ソフトウェアに添付されているケーブルを使用するようにしてください。ソフトウェアに添付されているケーブル以外使用した場合は、動作保証外となります。